

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県保土ヶ谷警察署協議会
日時	令和5年7月31日（月）午後2時から午後4時までの間
場所	神奈川県保土ヶ谷警察署
出席者	<p>1 警察署協議会側 会長 長尾静子 副会長 新井 好美 委員 伊藤麻実 太田建造 鹿郷満保 工藤直方 白鞘美登利 新庄茂 鈴木徳二 瀬川恵美子 寺坂悦郎 渡邊啓一 平野 美恵子 渡邊 啓一 計13人</p> <p>2 警察署側 署長 河鍋 勇二 副署長 吉田 孝博 地域担当次長 保坂 誠 警務課長 松野 浩 会計課長 西川 恭子 生活安全課長 永徳屋 康裕 地域第三課長 嶋村 実 刑事課長 齋藤 龍司 交通課長 堀家 章史 警備課長 中村 星児 計10人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>1 前回の諮問 「効果的な特殊詐欺被害抑止方策」の答申に対する取組</p> <p>(1) 答申</p> <p>ア 自宅固定電話を留守番電話設定し、出る際は名乗らない。</p> <p>イ メール添付のURLは開かない。</p> <p>ウ 知らない電話番号には出ない。</p> <p>エ 金額を入れた標語を作成する。</p> <p>オ 学生を対象とした闇バイト等への加担防止啓発活動をする。</p> <p>カ 高齢者に被害実例、特殊詐欺被害録音等を活用した啓発活動する。</p> <p>キ 各会合を通じた防犯講話の強化</p> <p>(2) 措置結果</p> <p>ア 関係機関との連携 関係機関や管内コンビニ店と連携し各種電話対策、チラシ等の作成及び配付、声掛け、通報依頼などを実施した。</p> <p>イ 詐欺被害防止広報の実施 プロサッカーリーグと連携し、同リーグのユニフォームを着たマネキンを警察署出入口に設置し、特殊詐欺の手口や被害件数、被害額を記載したボードをマネキンに持たせ被害防止の周知を図った。</p> <p>ウ 児童等への防犯指導 管内小中学校、高等学校に赴き、非行防止教室、サイバー教室、薬物乱用教室を開催し闇バイト等について防犯指導した。</p> <p>エ その他の対策 迷惑電話防止機器の貸出し時に犯人からの電話の録音データを聞いてもらっている。 防犯講話については、4月から6月の間に8回、345名に対し実施した。</p>
	諮問
	風水害で被災した地域住民に寄り添う警察活動について
	答申

- 1 避難した際の留守宅や避難所へのパトロールを実施してほしい。
- 2 避難所への訪問や訪問時に正確な情報を共有してほしい。
- 3 定期的に地域住民の情報についても共有してほしい。
- 4 災害に備えた準備をしてほしい（啓発活動、青パト広報等）
- 5 交通障害について情報を共有してほしい
- 6 自宅が損壊した場合の悪質商法対策をしてほしい。常時留守番電話設定し、電話に出る際は名前を名乗らないなどを指導してほしい。

業務説明

前四半期(令和5年4月から6月まで)の業務推進結果及び今四半期(令和5年7月から9月まで)の業務推進重点について各課長から説明がなされた。